

【Orvanshagor Dragonslayer】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号、職能

多くのドラゴンを退治した「ドラゴン殺し」としてのオーランスの名。オーランスの別名の一つ。

■ 概略

オーランスはシュ・ハカジイルを筆頭に、大物だとアロカや“珊瑚のドラゴン”フェマン、“石のドラゴン”ドラスダウなど多くのドラゴンを退治した。ドラスダウのその石の骨は未だに枯骨丘陵【bone hills】として残っているし、枯骨丘陵の一つ頭蓋の丘【skull hill】はその碎けた頭蓋骨である。

オーランスのカルトとしてはひどく特殊なカルトであり、その信者の数は絶対的に少ない。

■ 異界

組織

■ 聖日

ドラゴン殺しの日（不明）

この日に供物は捧げられ、それによって力は保たれドラゴンの力は封じられる。

■ 相、カルト

冒険者オーランスの下位カルト。

参考文献

- ・『Thunder Rebel』 p.216-217、226
- ・『Dragon Pass, Land of Thunder』 p.15、49